

平成 29 年 11 月 30 日

黒部市長 堀 内 康 男 様

黒部市総合振興計画審議会
会長 秦 正 徳

第 2 次黒部市総合振興計画前期基本計画（案）の策定について（答申）

平成 28 年 9 月 29 日付け黒企第 294 号で貴職より当審議会に諮問のありました第 2 次黒部市総合振興計画のうち、前期基本計画について慎重審議の結果取りまとめたので、別添のとおり答申します。

なお、貴職におかれましては、本計画の推進にあたり、特に下記事項に留意されますよう申し添えます。

記

- 1 本市の目指すべき将来像「大自然のシンフォニー 文化・交流のまち 黒部」の実現に向け、社会経済情勢の変化や市民ニーズに的確にとらえ、時宜にかなった施策の遂行に努められたい。
- 2 本計画に掲げた主な指標と目標値等を活用しながら、計画の進捗状況を適切かつ継続的に管理するとともに、その成果を評価・検証し、効果的な施策の推進に努められたい。
- 3 施策に基づく個別事業等の実施にあたっては、行政間の横断的な連携はもとより、市民・NPO・事業者等との協働による取組が不可欠である。本計画に明記している役割分担・メッセージについて、市民へ広く周知を図りながら、「市民の参画と協働によるまちづくり」のさらなる充実・強化に努められたい。

- 1 本市の目指すべき将来像「大自然のシンフォニー 文化・交流のまち 黒部」の実現にあたっては、市民への積極的な情報提供に努めるとともに、これまで以上に市民の参画と協働によるまちづくりを進められたい。

- 2 人口減少・少子高齢化の進行は、本市においても喫緊の課題である。本構想が示す平成 39 年の目標人口 39,000 人の確保に向け、雇用の創出や結婚、出産、子育て環境の充実など、あらゆる施策を展開し、人口減少の克服と持続可能なまちづくりに努められたい。

- 3 本構想に基づいた施策の推進にあたっては、行政の縦割りの見方・考え方にとらわれることなく、横軸の連携を重視した総合的な行政運営に努めるとともに、市民目線による効果的な施策を展開されたい。